

朝日中学校だより

笑顔あふれるあたたかい学校

令和2年10月14日発行



【教育目標】 進んで学び、豊かな心をもった、たくましい生徒

「文化祭のミッション（使命）」

校長 木ノ瀬隆幸

学校生活も1年の半分が過ぎました。この6か月でどれだけ自律した生徒に近づけましたか？修学旅行の代替で燕市を訪問した3年生は金属加工の職人さんの心意気にふれました。篠笛コンサートの田村さんは43歳からプロになりました。志を立てるのに遅すぎるといえることはないことを学びました。今後も学校以外の方からお話をいただく機会があります。自分の見方や考え方を広げ、将来の目標設定につなげることを願っています。

先日の全校朝会では文化祭のミッションについてお話ししました。それは「来ていただいた方を笑顔にする」ことです。新型コロナウイルス感染症対策で、今年度は校内展示は12月の3者面談の時に実施します。31日のメインは合唱と生徒会企画で、会場は文化会館です。書記局の皆さんには当日最大1時間の時間を確保するので、自由にどうぞと伝えました。これまでは、フリーパフォーマンスの時間として、歌や踊り、漫才等の発表もありました。10年前には今の制服デザインを審査するファッションショーも行われました。我こそと思う人はぜひ発表し、来場する方を笑顔に



してほしいと思います。合唱発表は学年ごとに2曲を歌います。歌は日頃の学校生活を反映させます。それには、日頃の学校生活がどれだけ充実しているかが大切です。10月には6年生の1日体験入学もあります。学校に来た6年生を授業や部活動の体験を通して安心し、笑顔にしてください。また、いじめ見逃しゼロスクールの取組の月です。困っている人が困らなくなるように、全員が今の生活を見直す機会としてほしいと思います。

実は、最近気になることがありました。一部ですが、友達のあだ名や嫌なことを言われてトラブルになったケースです。体育のソフトボールで、失敗した生徒に対して「何やってんだ、バーカ」と大声で叫ぶ人もいました。とても残念に思いました。大人でも気が合う人もいれば、合わない人もいます。でもそれを言えばケンカになるだろうということを、口にすることはまずありません。口にしたら、どんな結末になるか、想像ができるからです。中学生も時として自分の苛立った感情をすぐ言葉にしたり、逆に言われたことで相手に対して暴力に訴えたりして、ケンカやいじめになることがあります。大切なことは、相手の人権を尊重し、人の嫌がることはしないこと、失敗したら自分の非は素直に認めて謝ること、嫌な気持ちになっても暴力に訴えず、嫌だと口にして相手に伝えること、そして友達や大人に相談することです。

朝日中学校の誰もが、安全安心に生活するには、優しい言葉を使うことです。言葉は時には刃になることがあります。でも言葉に勇気をもらうこともあります。同じ言葉なら、元気を生むような素敵な言葉を選んで使いたいですね。

避難訓練を行いました！

9月24日(木)

村上市消防本部と朝日分署の消防職員の皆様をお迎えし、地震対応の避難訓練を行いました。避難目標時間4分以内の設定のところ、3分26秒でスムーズに移動していました。前回以上に真剣な態度でした。

その後、学年ごとに分かれて、別々の課題に取り組みました。3年生は起震車を使った、震度7の疑似体験をしました。東日本大震災の規模です。いかに揺れが大きかったかを実感した様子でした。



3年生が巡見旅行に行ってきました！

9月25日(金)

3年生の修学旅行は、二度の変更を経て、巡見旅行として新潟市・三条市・燕市方面へ日帰りを実施しました。あいにくの小雨模様の天気でしたが、マリンピア日本海の動物の観察、燕三条ワシントンホテルでのテーブルマナー講習会付きの昼食、燕市産業資料館での体験活動や藤次郎資料館の見学など、大変充実した一日でした。

マリンピア日本海は本校と同じく30周年記念で、スタンプラリーを始め、リニューアルされて見所満載でした。

昼食は日頃給食で30分のところを、3倍の時間をかけて、おいしく料理を味わうことができました。

燕市産業資料館の体験では、世界に1つだけのオリジナルタンブラーの製作や、チタンコーティングした好みの色のアイスクリームスプーン、お土産のカレーチャーハンスプーン等、たくさんの記念の品を持ち帰りました。

藤次郎オープンファクトリーでは刃物の一連の製作工程を紹介していただきました。作業の音が大きいため、ワイヤレスのイヤホン装着してお話を伺いました。職人さんの心意気を感じる良い機会となりました。

旅行という非日常を心から楽しんでいました。旅行者の皆さん、実行委員の皆さん、何度も変更があって、さぞかし大変だったことと思います。柔軟に対応していただき、ありがとうございました。



朝日土曜学習会が始まりました！

9月26日(土)

2月末まで、毎週土曜日の午前9時から、朝日総合文化会館で朝日学習会が始まりました。今年で15年目を迎えるこの事業は、以前は地域の退職された教職員のボランティアで成立していました。現在は、新潟県教育委員会より、土曜学習トライアル事業の支援をいただいております。今年は3密防止のため、1階多目的ホールをお借りして実施することとなりました。講師の稲葉先生からは、「チーム朝日として、自分の考えを議論しながら、みんなで力をつけていこう」と激励していただきました。

これから5ヶ月間、確かな力をつけ、希望進路実現を達成しましょう。



吹奏楽部定期演奏会を開催しました！

9月27日(日)

朝日総合文化会館にて、吹奏楽部の定期演奏会を実施しました。新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、各種コンクールが中止となり、3年生にとっては最後の発表会となりました。会場には80名を超える保護者の皆様と関係者の皆様がおいででした。曲目は、紅蓮華、SING, SING, SING、スイングしなけりや意味ないね、3月9日の4曲に、3年生のソロやパート曲を加え、1時間があったという間でした。

最後に3年生から、一人ずつメッセージを発表してもらいました。おかげさまで心温まる素敵なコンサートになりました。大変お疲れ様でした。



あさひの森の手入れをしました！

9月28日(月)

5時間目に岩船村上緑化推進会議会長の佐藤巧様から、1年生向けに「大木を育て、あさひの森をつくり、自然を学ぼう」というタイトルで、ご講演をお願いしました。この活動は4年目に入りました。一人一人が自分の木を決めて、成長を見守り続けていきます。6時間目は森に行き、自分の木が分かるように、くい打ちを行いました。2～3年生は、4時間目に確認作業をしました。大きく育ててほしいです。



田村優子さんの篠笛スクールコンサートを実施しました！

10月1日(木)

村上市民ふれあいセンターのアウトリーチ事業「篠笛 田村優子スクールコンサート」が行われました。3年間で市内の7つの中学校を回る企画の2年目で、今年は神林中、荒川中と続いてきました。新型コロナウイルス対策で、朝日総合文化会館大ホールの席を1つつ空けて、ゆったりとした環境でコンサートを楽しみました。

ジブリの天空の城ラピュタ「君をのせて」から始まり、中島みゆきさんの「糸」、今日の中秋の名月にちなみ本校だけの特別企画「ムーンリバー」、「佐渡おけさ」、「夕焼け小焼け」、「こきりこ節」等、次々と演奏していただきました。また、曲の合間のお話も印象的でした。

安田瓦の社長様からお話をいただきました！

10月8日(木)

2年生の総合の時間に、阿賀野市から丸三安田瓦工業株式会社社長の遠藤和人様から、ご講話をいただきました。この企画は、県義務教育課の「企業等による理科大好き子を育てる出前授業」の一環です。この授業では、新潟県の企業の優れた製品や技術を中学生に紹介し、科学技術やものづくりに関する能力や意欲を高め、未知の分野に挑戦する探究心や創造性を育成する機会とすることをねらいとしています。

実物の瓦を持参していただき、歴史、強度、製造に関するお話やご苦労されたこと等、たくさんのお話を聞かせていただきました。おかげさまで充実した1時間となりました。2年生は職場体験学習が新型コロナウイルス感染症拡大防止のため実施できませんでしたので、今回のように講師の方から学校へおいでいただき、職業に関するお話をいただく機会を設けて参ります。



印刷物についてのお知らせ

市内全小中学校に新しい印刷機が導入されました。新しい印刷機ではカラー印刷と白黒印刷は同一料金となっています。そのため、今後の学校便り等は、学校の様子や子どもたちの様子をより分かりやすく伝えることができるカラー印刷にします。



シリーズ 私の青春時代 第5回

「シリーズ 私の青春時代」、今年度も好評連載中です。第5回は、1学年担任の本多侑先生です。

わたしの青春時代

1学年担任 本多 侑



中校生の頃



現在

高校生になったら他の部活動に入りたいな、そんなことをぼんやりと考えていた中学3年生の2学期。高校生になってからも吹奏楽部に入るとは思っていなかった。更に言うと高校受験に失敗するとも思っていなかった。希望する高校に進学できないことが分かっただけからしばらく暗い気持ちの日々が続いた。中学校のクラスで受験に失敗したのは私だけだった。このとき初めて自分の将来について不安を覚えた。

ある日、高校から封筒が届いた。吹奏楽部の演奏会の招待状だった。あまり気が進まなかったが母が連れて行ってくれた。演奏を聴き励まされたと同時に人に元気を届ける音楽を作りたいと強く思った。この演奏会がきっかけで入部を決めた。

想像以上の練習が待っていた。GWや長期休みは合宿や演奏会が当たり前で土日も毎週練習があった。休日は高速バスで部活に通った。自宅からバス停までの自転車の4km、バス停から学校までの徒歩の2kmも部活のためなら苦ではなかった。部活がしたくて長岡から新幹線で通っている同級生もいた。

朝、学校に登校したら真っ先に音楽室へ向かった。昼食後もすぐに練習できるように音楽室でご飯を食べた。みんな楽器を演奏することに真剣だった、私も頑張ろうと刺激を受けた。私は楽器がさほど得意だったわけではないので悔しい思いをすることも多かったがそれでも誰かに元気を届ける音楽を作りたいという気持ちが消えることはなかった。

努力が実を結び、高校3年生の夏のコンクールでは県大会を1位で通過し西関東大会に進んだ。失敗からスタートした高校生活の先に、こんな未来が待っているとは想像もしなかった。

失敗してしまった後にどのような行いをするかでその後の未来は大きく変化することを伝えたい。とはいえ、大事な本番で失敗することはオススメできないので受験の準備はきちんとしておくことがよいでしょう（笑）

朝日中学校では、日々の取組をホームページに掲載しています。ぜひ、ご覧ください。

ホームページアドレス <http://www.city.murakami.niigata.jp/asahi/asachu/index.html>

